

## ご案内

# 日本雑草学会第55回大会 「若手の会 勉強会」

若手の会で勉強会を下記のように企画しております。若手の会と称しておりますが、年齢制限はありません。雑草学会の会員の方でなくても構いません。皆様お誘い合わせの上、奮ってご参加ください。

### 記

#### 【勉強会】

テーマ： ゲノム情報を用いた表現型予測

#### 趣 旨：

雑草が持つ表現型の多様性は、雑草研究者にとって大きな魅力のひとつであり、大きな悩みの種でもあります。すなわち、ある雑草の特性を明らかにしても、異なる生育環境や地理的に隔離された集団においてその特性が当てはまるか、確信を持つことができません。また、ある防除技術を確立したとしても、その地域では使えるが他地域では使えない場合も出てくるでしょう。

遺伝子型から表現型の多様性を理解・表現するアプローチもあります。しかし従来の分子マーカーの多くは中立な領域の多様性を検出しているため、遺伝子型の多様性と表現型の多様性が一致しないことが多くありました。この原因は、分子マーカーで検出できる情報量が少なく、また、中立な領域をターゲットとするため適応形質に関わる遺伝的多様性を検出できていないことが挙げられます。次世代シーケンサーに代表される近年の技術革新により、雑草のような非モデル植物においてもゲノム情報を活用した研究が現実的なものとなってきました。これにより、適応形質に着目した集団遺伝学的アプローチやケタ違いの情報量を活用した系統地理学的アプローチが可能になりました。今回の勉強会では、ゲノム情報が雑草の表現型多様性の理解にどのような恩恵をもたらすか、保全遺伝学およびゲノム育種の2つの視点からご講演いただきます。

保全遺伝学では、吉田康子さんにサクラソウ野生集団における適応形質の遺伝的多様性についてお話いただきます。次にゲノム育種では、岩田洋佳さんにゲノミックセレクションを用いた品種改良・表現型予測についてお話しいたします。吉田さん・岩田さんのご講演を通して、雑草の表現型多様性を維持する遺伝的多様性とはどんなものなのか、ゲノミックセレクションを雑草研究に応用して雑草の表現型を予測することは可能かなど、ゲノム情報を活用した雑草の表現型研究に関して議論したいと思います。

日 時：平成28年3月28日 16:00~18:30

場 所：東京農業大学 世田谷キャンパス 1号館 2階 224 教室

参加費：無料

プログラム：趣旨説明 今泉智通（中央農研）

1. 吉田康子（神戸大学大学院 農学研究科）  
「絶滅危惧種サクラソウ野生集団の遺伝的多様性と適応分化」
2. 岩田洋佳（東京大学大学院 農学生命科学研究科）  
「ゲノム情報をもとに植物の表現型を予測する一環境応答をモデル化する試み」

#### 【懇親会】

日 時：平成 28 年3月 28 日 19：00～

場 所：東京農大周辺の居酒屋

参加費：割勘(学割有り)

#### 【申し込み】

平成 28 年 3 月 21 日(月)までに <https://goo.gl/swQWEA> の申込フォームにて、(氏名、所属、メールアドレス、懇親会の出欠)の情報をご記入ください。

問い合わせ先：[zassouwakate@gmail.com](mailto:zassouwakate@gmail.com)

若手の会 世話人 水口亜樹・今泉智通・下野嘉子